

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受 理 番 号	8 4	受 理 年 月 日	令 和 2 年 9 月 25 日
件 名	京都こども文化会館の閉館方針の中止等		
要 旨	<p>京都府、京都市は京都こども文化会館を2020年11月に廃止すると発表した。私たちは、京都の子育て施策、子供たちの芸術、文化の保障を守り、より良いものにしたい立場から、これに反対している。</p> <p>京都こども文化会館は、1982年の開館以来、子供たちのための文化、芸術の場として、そして多くの世代の人々の表現、鑑賞の場として親しまれてきた。コロナ禍の今、私たちは人と人とのつながりの大切さ、子供たちの育ち、私たちの暮らしにとっての芸術、文化の大切さを痛切に感じている。なぜ、よりによって今、間隙を縫うように歴史ある会館を廃止するのか。京都府、京都市はその理由として、老朽化した施設を修繕、建て直すのに多額の税金が掛かると説明している。しかし、子供のための施策に税金を投入するのは大人の責任である。コロナ禍の最中に「こども」を冠した施設を廃止することは、将来に禍根を残す。京都こども文化会館には設置条例がなく、今のままでは議会で何ら審議されることなく廃止されてしまう。</p> <p>私たちは今、インターネット署名にも取り組んでいる。署名は紙媒体のものも合わせ、僅か数週間で1,000筆をはるかに超え、今もなお続々と寄せられている。「この施設と共に育った子供たちにとって思いのある施設である。」、「大人の都合で子供の大切な場所を潰すのはおかしいと思う。」、「この情勢での廃止は百害あって一利なしである。」等、切実なメッセージも寄せられている。</p> <p>京都市議員におかれては、どうか国連の子どもの権利条約が求める子供たちの最善の利益を守るため、京都市長に対し、拙速な廃止を中止し、一旦立ち止まって大切な子供たちのための芸術、文化の保障のために何をなすべきか再考を求める。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都こども文化会館を11月に閉館する方針を中止するよう市長に求めること。 2 子供たちのための文化、芸術の発表、享受の専用施設である京都こども文化会館の意義について、京都における子供たちの育ちの保障の観点から、議会において審議すること。 		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		